

ねむろトピックス

こまば保育所のおともだち

夢・おまぎくった



おかた なな 岡田 奈々ちゃん（4才）
“看護師さんになりたい”



はせがわ じむ 長谷川 心夢くん（5才）
“明治交番の警察官になりたい”



こさか さくらこ 小坂 桜子ちゃん（6才）
“ボスフルの店員さんになりたい”

DREAM



10月5日、「第24回根室産業フェスティバル」が市のイベント広場で開催され、ミニ牧場やサケのつかみどりなどの催しを、多くの市民が楽しみました。

9月22日から10月17日まで、ニ・ホ・ロと総合文化会館を会場に松前藩絵師崎波響の最高傑作とよばれる「夷酋列像」を展示した「夷酋列像とクナシリ・メナシの戦い」のパネル展が開催されました。



10月13日、「第13回市民健康マラソン」が青少年センター前庭から牧の内線を折り返すコースで開催され、さわやかな秋晴れのもと約100人の参加者が健脚を競いました。

図書館

〈静かな憩いのときを あなたの図書館で〉

第62回 読書週間

「おもわぬ出会いがありました。」



「読書の秋」というように、「文化の日」をはさむ10月27日から11月9日まで、「読書週間」が展開されています。「読書週間」は、すべての人たちに、本に親しむきっかけをつくっていただきたいという思いが込められています。今年の標語は、「おもわぬ出会いがありました。」です。最近、心を動かされたことはありましたか？涙を流したことは？大きな恋愛・失恋は？異国の旅は？怖くて叫んだことは？気になっているけど人に聞けないことは？それらすべてが本の中にあります。図書館で、新しい出会いをみつけましょう。

一部をご紹介します

図書館では「読書週間」事業の一つとして、本展「源氏物語の世界」誕生から千年を「10月24日（金）から11月9日（日）まで開催しています。源氏物語の関連の本150冊を一堂に展示し、予約受付を行います。千年を越えて今も色あせることなく読み継がれている「源氏物語」。何故これほどまでに人々を魅了してやまないのか。その謎を解き明かしてみるのはいかがでしょうか。この秋の「おもわぬ出会い」の一つに！

◆『角川選書 源氏物語入門』

『源氏物語大辞典』編集委員会／編 角川学芸出版 角川グループパブリッシング

華やかな恋、深い苦悩、運命にもあそばされる人々。人の世の歎びと哀しみに充ちた長大な物語が、的確なあらすじとわかりやすい。国宝源氏物語の全場面解説を含む豊富な図版とともに、『源氏物語』の雅な世界を探索してください。

◇『源氏物語千年記念ガイドブック 源氏物語を歩く旅』

柘出版社

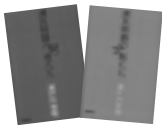


王朝の雅に彩られた、美しき恋物語。その恋はみずみずしくいま、今もここにある。
「源氏物語千年紀」を記念し、物語に登場する舞台を旅しながら京都の「いま」と「むかし」に出会える。美しい王朝ロマンに思いを馳せてください。

◆『源氏物語の女君たち』『源氏物語の男君たち』

瀬戸内寂聴／著 日本放送出版協会

源氏が最も心を許した「紫の上」。男を虜にする魅力の持ち主「夕顔」など、個性あふれる女君たちのキャラクターを分析した『源氏物語の女君たち』。
見た目がよくても、甘い言葉をささやいても、昔も今も千年変わらず、男の愛は「自己本位」。嫉妬、横恋慕、復讐心……権力と色情に生きる「源氏物語」の男君たちの姿を、現代の男性の生き方や性格・心理に重ね合わせながら見ていく『源氏物語の男君たち』。一大源氏ブームを巻き起こした第一人者の「源氏」格好の入門書。



司書 千葉 風子